

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1 階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17 時



タイトル「くりひろい」



たまのさつき
玉野皐月さん 8 歳（小学 2 年）

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

10 月 10 日号の予定			10 月 25 日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	10 月 8 日（木）	午後	封入作業	10 月 22 日（木）	午後	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722（渡邊）
発送作業	10 月 9 日（金）	午前	発送作業	10 月 23 日（金）	午前	

方言講座「やっとかめだなも」

やっとかめだなも

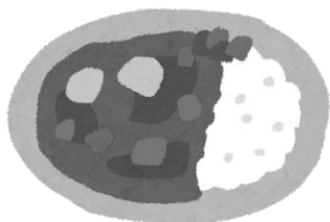
昨年7月から今年の1月号まで続いた「方言講座」は、断りもなく中断していました。大変失礼していました。今回「やっとかめ」に登場いたします。「やっとかめ」は「久しぶりに」という意味。「やっとかめだなも」というと、「お久しぶりですね」という意味になります。若い人の間でもまだよく使われているかな…。語尾に「なも」が付くと丁寧な言葉になるようです。



じゃん・だら・りん

これは愛知県の東三河地方（豊橋市、蒲郡市、豊川市、新城市、田原市など）の方言を代表する言い方です。こんな会話がわかりますか？

「あっちの方にいかいきんない看板が見えるじゃん。あれがカレー屋さんだがね」、これは「大きな黄色い看板がみえるでしょう」という意味です。「いかい」が「大きな」で、「きんない」が「黄色い」、「じゃん」が「で



しょう」となります。または「見えるじゃん」ではなくて「見えるだら？」という「見えますか？」という意味になります。「じゃん」は隣の静岡県浜松市辺りに行くと「見えるずら？」となるようです。「えっ、見えない？よくみりん」という「よく見なさいよ」という意味です。この「りん」はともよく使います。夜も更けて「子どもはもう寝りん」は「子どもはもう寝なさい」という意味です。「こちらにいらっしやい」を「こっちにこりん」といいます。ちなみに名古屋では「こっちにこやー」といいます。

色言葉

上で「黄色」を「きんない」と言いましたが、「赤い」は「あきやー」となります。

言葉の壁は差別さえなければ、笑い話で済ませられます

筆者の私は四国の徳島県出身で、20歳の時に名古屋市にきました。初めは言葉で笑われました。まだ若かったので、こちらの言葉を覚えて使うようになるのに、それほど時間はかかりませんでした。でも今でも「関西の人？」と言われることが多々あるので、20歳ぐらいでは言葉を覚えて使い切るのは難しいです。小学校ぐらいだとあっという間に覚えますね。東北から子連れで来られ



た方は、お子さんがあまりに早くこちらの言葉を上手に使うのを見て、東北のことを忘れてしまうのではと感じることはありませんか？外国人の場合も同じように、例えばブラジル人の小さい子どもは難なく日本語を話すようになります。それを見て親は、母国語の文化を失うといった恐怖心を感じるようです。3世になると、きっとまったく母国の文化を失うほど感覚が違ってきます。大切なことは、どちらの文化も尊重し、お互いに違うこと、異なることを理解することでしょう。そうすれば、言葉の違いは「笑い話」で済ませられるでしょう。そうありたいと切に願うところです。

（あおぞら編集委員 瀧川裕康（四国の徳島県出身））

愛知県での3年

愛知県に避難してきて3年が経ちました。私は家族と一緒に避難して来ました。夫・私・娘2人（現在6歳・4歳）の4人です。

原発事故の後、避難区域ではない郡山市の中でも割とホットスポットが多い地域に住んでいました。そして放射能汚染からの避難を考え愛知県に来ました。こちらに来た時は、毎日のように涙を流しての生活でした。スーパーで西日本産の食材をカゴに入れた時、洗濯物を外に干した時、布団を1年ぶりに外に干した時、子どもたちを外でのびのびと遊ばせた時にも、とにかく涙でした。それは、これまでの人生では当たり前になっていたことが、こんなにも幸せなことだったのか、と気付かされた瞬間でもありました。

愛知県に来てからは環境の違い、方言の違い、車を走らせても東北との運転ルールの違いと、戸惑うこともありました。そして家族のなかでも、乗り越えなければならない出来事がたくさんありました。けれども3年ここで生活するうちに環境に慣れ、とても心地良い場所になってきています。

もう1つ愛知県に来てからのことですが、南海トラフ地震が怖くて日々の生活で心得ていることが増えました。携帯は肌身離さず持ち歩いています。「地震速報が鳴った時すぐに行動できるように」と心掛けています。そして日々イメージトレーニングをしています。「もし今大地震がきたら？」「どう動けば子どもを守れる？」、そればかり考えています。こればかり考えているのが最初はストレスでしたが、今は日常化しています。そして防災用の備えも定期的に見直ししながら、自分なりの安心材料を増やしているところです。



＜イベント参加時の菅田さんと娘さん＞

たくさんの人々を苦しめた原発事故はあってはならないこと。だから今も原発が残っていることには疑問を感じます。あの事故以来、今も悩み苦しんでいる人たちがたくさんいることを思うと、とても胸が痛みます。そう想いつつ、私は今ここで生活しています。当たり前の幸せを、日々感じながら生きています。こんな発言は不謹慎かもしれませんが、あえて言えば「原発事故が無かったら、今も何も考えずに当たり前の幸せにも気付くことなく生活していた」のだと思います。

時々、福島県に両親を残したまま自分たちだけがここで生活する選択が、良かったのか？と考えます。そう想いつつ、家族が無事に1日を終えられることに、外の空気に触れ、お腹いっぱいご飯を食べて元気に過ごせることに感謝しています。

あの日以来、考えがマイナス思考になった時もありました。愛知県に来たことで今まで忘れていた「生きることの幸せ」に気付かされました。その気持ちを忘れずに、これからも前向きに生活していこうと思います。これが愛知県で生活して3年が過ぎた今の気持ちです。

（避難元福島県郡山市 菅田真紀）

インタビュー

「困難があってもコツコツ進めることで夢は叶います」と笑顔で語るコラル・チェリ・ナバラさん。

訪問した土曜日、ナバラさんの娘・中学1年生のかえちゃんは部活。「オーケストラでバイオリンを弾いています。」発表会で演奏する姿をスマートフォンで見せてもらった。

「将来の夢は保育士かパティシエと言っています」。部屋には小学6年の時に「なりたい将来の夢」というテーマで作ったパティシエの人形が飾っているが、保育士が本命のようだ。取材途中にかえ

ちゃんも帰ってきた。

ナバラさんは7人兄弟の末っ子。小学校の時はお父さんの仕事で頻繁に引っ越し。5年生の時に手術のため1年間学校を休んだ。「数学が得意だったので、大学で経営学を学ん



＜取材時のナバラさん＞

で銀行のスタッフになりたかった」そうだが、学費が払えず1年で辞めて2000年に日本（茨城県）に来た。働いたお金をフィリピンの家族に送る5年間。その後、一旦フィリピンに戻り、かえちゃんが小学校に入学する2008年に再び岩手県久慈市に来た。「みんなやさしい町」。道で会うクラスメイトの父母も「かえちゃんのお母さん」と声をかける。子ども会があり大人もラジオ体操で一緒だった。「こっちに来てからは、子ども会もラジオ体操もない」、人の繋がりが無くなった。

3月11日の午後、ナバラさん親子は昼寝をしていた。「揺れの大きさに歩けず、その日は小学校に

避難しました。友達が津波で亡くなりました。3日間は電気もお湯も出ず、スーパーにも食料品がありませんでした」。仕事が無くなり、愛知県に住む友達を頼って8月16日に豊橋に。友達の紹介で仕事と住宅が決まった。2012年5月1日に職場からの帰り、一時停止違反の車との車両事故に遭い、今も首の後ろが痛むそうだ。その職場を辞めて12月3日から今の職場で働き始めた。そして起こったのがかえちゃんへのいじめ。相手の子どもと親にやめるように言って、その後は止まった。「日本にきて地震にあって、こっちにきていじめにあって、私は何をすればいいか、ずっと考えていました。シングルマザーなので、私の弱いところを見せるのは、子どもに良くないと思います」。転機になったのは2013年10月。1人で法務局を訪ね、必要な書類をもらい、何度も通ってかえちゃんの日本での戸籍を得たのだ。その頃から「大変な時でも、コツコツと努力すれば道は開ける。そして夢は実現する。」と思えるようになった。今、かえちゃんへのアドバイスは「あなたにとって良いことなら思いきって頑張る。If you want to do it, go for it.」。そして毎週日曜日は教会で祈る。「大震災のようなことがいつ起こるかわからない。私たちだけでなく、友だちや仲間を守ってください」。



＜かえちゃんの作った
パティシエ人形＞

（インタビュー 向井忍・神田すみれ）

イベントアンケート

6月に開いた「東山動植物園に行こう！」を主催した「なごやであそび隊」では、参加した被災者を対象にアンケートを行い、12人から回答がありました。アンケートの中で、イベントと機関誌あおぞらについて質問しました。イベントの感想では、学生が子どもの面倒を見てくれることに感謝する声が多く挙がりました。また、被災者支援センターが発行する「あおぞら」についての感想や意見もまとめました。

■ イベントの感想～自由記述から（かつこ内は人数）

<プラス意見>

- ・ 普段できない動物の餌やりができて良かった（3人）
- ・ 学生が子どもの面倒を見てくれるので安心してゆっくり過ごせた（6人）
- ・ お弁当を用意してもらえるので食事の心配がない
- ・ 来年も参加したい
- ・ 放射能から逃げてきた。面識を重ねられ情報を共有でき、避難して良かった

<今後に生かしたい意見>

- ・ お菓子などをいただいてありがたいが、子ども用のお菓子は体にいいのか疑問がある
- ・ 早めに日にちがわかると参加しやすい



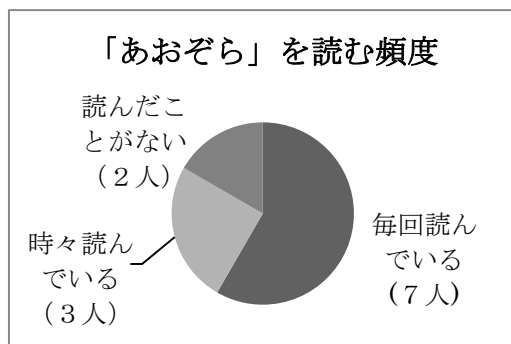
<ゾウをイメージして創作中>



<完成した作品を手に記念撮影>

■ 「あおぞら」への要望

(1) 「あおぞら」を読む頻度



<ウッドリースの手作り
体験での作品>

(2) 「あおぞら」に掲載してほしいもの

- ・ 地産地消のレストラン
- ・ 学園祭（名古屋の高校、大学の情報）
- ・ 放射能のデータ



<モノレールの待ち時間
で日程確認中>

※あおぞらに掲載して欲しい内容があればこちらまで。（TEL：052-954-6722）

（あおぞら編集委員 坂本智佳子）

インフォメーション

東山動植物園

所在地：名古屋市千種区東山元町 3-70

時間：9:00～16:50（入園は 16:30 まで）

問合せ：TEL 052-782-2111

休館日：月曜日（国民の祝日又は振替休日の場合
はその翌日）



QRコード

あいちの **産直&体験施設**
 ～お買いものガイド～ **第5回**
 愛知西部、名古屋の南に位置する知多
 2ヶ月連続特集 **知多編②**




産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



梨や栗など、秋の味覚がおいしい季節になってきました。先月に引き続き、知多を取りあげます。この地域は温暖な気候に恵まれた地域で、野菜などの農業が盛んです。涼しくなって過ごしやすくなってきたので、出かけてみてはいかがでしょうか。



PICK UP

ひかりのさとファーム

場 所： 知多郡東浦町大字緒川字下米田 37-4

T E L： 0562-84-4389

営業日時： 月～金曜日 9：30～16：30

土曜日 11：00～14：30



安心・安全な食へのこだわりを持ち、材料から吟味された、自然の恵みを味わえる自然食レストラン・カフェ。天然酵母・国産小麦・石臼挽き全粒粉を使用した素朴で味わい深いパン、フェアトレードの無農薬の生豆を自家焙煎した香り高いコーヒー、自家配合のエサで平飼いの鶏たちの生命力あふれる卵の販売コーナーもあります。

<知多の産地直売所&ふれあい体験施設>

No	施設の名称	住所・場所	営業日	営業時間	連絡先
①	フレッシュ朝市	東海市富木島町八幡下 1	土曜日	7:00～ 8:00	052-601-8731
②	グリーンプラザきょうわ	大府市共和町 2-19-1	水～月曜日	9:00～17:00	0562-47-4867
③	岡田かあちゃん朝市	知多市岡田字西島 31	水曜日	9:00～10:00	0562-55-3511
④	産直ひろば ^{あいおい} 相生	知多郡東浦町大字緒川字鰻池 34-19	水、土、日曜日	8:00～10:00	0562-83-9881
⑤	東部産直ひろば	知多郡阿久比町大字宮津字宮平池 6	木～火曜日	8:00～12:00	0569-48-2640
⑥	半田まんてん広場	半田市池田町 3-1-1	土、日曜日	10:00～17:00	0569-27-8110
⑦	美浜ナチュラル村	知多郡美浜町大字豊丘字中平井 1	年中無休	8:30～17:30	0569-82-5321
⑧	食と健康の館	知多郡美浜町小野浦西川 1	水～月曜日	9:00～17:00	0569-83-3600
⑨	日間賀島産地直売おみやげセンター「ひまか ^{おざと} 東里」	知多郡南知多町日間賀島字小戸地 72	金～水曜日	9:00～17:00	0569-68-2201

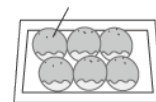
●産直施設の営業時間は異なることがありますので電話で確認されると安心です。

施設のホームページからも詳細を確認していただけます。



旬のお出かけ情報

～学園祭～



愛知県内の大学の学園祭を特集します。県内には多くの大学がありますが、あまり行ったことがない方が多いのではないのでしょうか。大学を知る機会として学園祭に出かけてみませんか。



PICK UP

第40回淑楓祭（愛知淑徳大学）

開催場所： 名古屋市千種区桜が丘 23
(星が丘キャンパス)

開催日： 10月31日(土)、11月1日(日)



今年のテーマ「PUZZLE」には、淑楓祭という大きなパズルに関わってくださる方々を1つにし、成功させたいという願いが込められています。今年は第40回記念企画としてミレイヒロキさんによるライブペイント、玉城ティナさんの有料トークショー、かもめんたるさん、ラブレターズさんによるお笑いライブ、お化け屋敷、模擬店、レーザーショーなど魅力溢れる企画が盛りだくさんです！

<愛知県内の大学学園祭一覧>

開催日	名称	開催場所	QRコード
10月10日(土)、 11日(日)	第13回名経祭(名古屋経済大学)	犬山市内久保 61-1(犬山キャンパス)	
10月11日(日)	東海祭(東海学園大学)	名古屋市天白区中平 2-901 (名古屋キャンパス)	
10月17日(土)、 18日(日)	第54回相大祭(相山女学園大学)	名古屋市千種区星が丘元町 17-3 (星が丘キャンパス)	
10月24日(土)	東学祭(東海学園大学)	みよし市福谷町西ノ洞西ノ洞 21-233 (三好キャンパス)	
10月24日(土)、 25日(日)	第51回名学大祭(名古屋学院大学)	名古屋市熱田区熱田西町 1-25 (名古屋キャンパス)	
10月29日(木)～ 31日(土)	MEIJO FESTIVAL 2015(名城大学)	名古屋市天白区塩釜口 1-501 (天白キャンパス)	
10月31日(土)～ 11月3日(火)	南山祭(南山大学)	名古屋市昭和区山里町 18 (名古屋キャンパス)	
11月1日(日)	聖南祭(南山大学)	瀬戸市せいれい町 27 (瀬戸キャンパス)	
11月2日(月)、 3日(火)	愛大祭(愛知大学)	名古屋市中村区平池町 4-60-6 (名古屋キャンパス)	
11月6日(金)～ 8日(日)	第52回名桜祭(名古屋短期大学、 桜花学園大学)	豊明市栄町武待 48	

●詳しい情報は主催者のホームページからご確認ください。

各イベントの開催日は変更または中止となる場合もございます。

主催者にご確認のうえお出かけください。



スタッフ紹介 ～ 事務局 三島知斗世 ～

支援センターのスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第13回は事務局スタッフの三島知斗世です。



2014年4月からセンターでお世話になっています。所属するNPOでは、東日本大震災に関して直接行動を起こすことができないでいましたが、センターの何人かの方たちと旧知で、「スタッフになれるだろうか」という申し出を実に迅速に受け入れてくださったことを感謝しています。

昨年度お訪ねした個別訪問にしても、諸課題にさまざまな組織が連携し対応できる体制をつくろうという動きにしても、驚くほどの迅速さでセンターは動いています。一方で、じっくりと議論を重ねる根気強さも…。私は週1勤務でデータ整理が中心ですが、その勢いに遅れることなく、同時にここで出会う一つひとつの出来事や声を大切に、仕事にあたりたいと思っています。

支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★よくお買い物をする産直で見つけた豊田産米で作った米粉の煎餅、ぽんせんにはまっています。控えめ塩加減が美味しいです。(Y.S)
- ★赤十字健康生活支援講習を受講してきました。(J.I)
- ★猫の額の自家菜園ながらキュウリがたくさん採れ、料理はもとより、塩漬け、ぬか漬け、キューちゃん漬け、ピクルスと、あの手この手でキュウリに明け暮れた夏でした。(K.T)
- ★親子でハンドメイドブーム。娘はフェルト小物、私はアロマキャンドルです。(M.M)
- ★お墓参りに福島に行きました。久しぶりに家族が揃い、賑やかなひと時を過ごし、ぐっすり寝られました。(E.K)
- ★夫の会社のイベントで、子どもと職場訪問をしてきました。会議中の夫の様子を見ることもできて、子どもがとても喜んでいました。(Y.Y)
- ★かわら美術館のハロウィンのランプシェード作りに参加しました！久しぶりに童心に帰って粘土をこねました～、出来上がりが楽しみです！！(K.I)
- ★8月30日に豊橋で「相双地区交流夏祭り」が行われ、参加してきました。相馬盆唄盆踊りはちょっと難しいかも…。(K.H)
- ★すくらっぷ集の記事をみんなで集まって貼りつける作業。今回も東北の記事がたくさんありました！(M.Y)

<10月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域
10月3日(土)～ 11月1日(日)	2015 イタリア・ボローニャ国際絵本 原画展	高浜市
10月7日(水)	津軽三味線コンサート 輝&輝	刈谷市
10月21日(水)	里山を歩きましょう	千種区
10月31日(土)	犬山の子どもと交流しましょう！！	犬山市

- 詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。
皆さんのご参加をお待ちしております。

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993
mail: aozora@aichi-shien.net